



新潟県作業療法士会ニュース

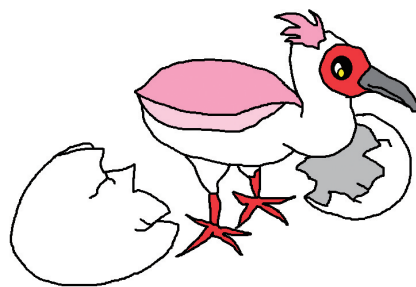
とき

No. 1

//////// 「とき」生まれ変わります！ //////////

昨年度、新潟県作業療法士会は30周年という大きな節目を迎えました。

この先の10年、20年に向けて新しく踏み出す1歩として、今号より新潟県作業療法士会ニュースが生まれ変わります。これまで長年慣れ親しんでいただいた「とき」の愛称はそのままに、より多くの会員の方々に楽しんでいただけるよう誌面を工夫していきたいと思っています。



巻頭と巻末はカラーになり、明るく有意義な情報発信の場となります。これまでのように県士会からの一方通行の情報だけではなく、Activityや自作の自助具、利用者様との外出や園芸、訪問での様子をおさめた写真等々、日々の臨床における成果を皆様からも発信して頂ける場を設けました。それを会員同士で共有していくことも大きな目的ですが、できたら皆様の周りにいらっしゃる患者様、利用者様と一緒に活用して頂けると嬉しいです。

紙面に掲載されることで、病気やケガ、加齢により自身をなくしてしまった方が日々の作業療法の成果の一つの形として、自信を取り戻すお手伝いができれば…そんな想いで作っていきます。ご協力いただいた対象者様にも1部差し上げますので、難しく考えずに「良くてきたからOT室に飾って見てもらおうよ(^o^)/」くらいの軽い気持ちで投稿してみませんか？ご希望の方は巻末にある広報部連絡先または事務局までお気軽にご連絡ください。こんな誌面を作ってほしいといったご意見・ご要望もお待ちしております。

また、県士会のホームページも合わせてリニューアル致します。より見やすく使いやすいものになり、この「とき」も随時掲載していきます。「とき」は各施設1部ずつのお届けではありますが、バックナンバーとして蓄積されますので必要に応じてダウンロードをしてお読みいただくと幸いです。



新しくなった県士会ニュース「とき」とホームページをよろしくお願いいたします！

新潟県リハビリテーション専門職協議会における報告と今年度の予定

事業部 地域支援事業担当理事 四 方 秀 人

この度の熊本県を中心とした震災で甚大な被害を受けられた地域の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。本県での二度の震災への活動、さらには東日本大震災での他県への支援活動の経験を踏まえ「新潟県災害リハビリテーション連絡協議会」の一員として、今後の震災支援に対する連携を担っていきます。会員の皆様の理解と協力の程を何卒よろしくお願い致します。

さて、昨年度より、事業部の中の大きな柱として位置づけられた「地域支援事業」について、これまでの経過と各地域での具体的な活動を少しご紹介したいと思います。

平成27年4月、新潟県内における日常生活総合支援事業における地域リハビリテーション事業を推進していく構成団体として「新潟県リハビリテーション専門職協議会」が設立されました。この団体は2025年に始動する地域包括ケアシステム確立における専門職能団体の基盤として、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会で構成された組織です。県内の各市町村では、地域包括ケアシステムを見据えた事業展開が開始される中、各地域事業へのセラピストの派遣も始まっております。会員の皆様におかれましてもご周知いただき、是非ともご理解、ご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

【市町村窓口担当者の設置】

平成27年度の地域支援事業における取り組みのひとつに、県内30市町村（全37地区）すべてに窓口担当者37名を配置いたしました。市町村からの依頼（事業への講師派遣、地域ケア会議への出席、認知症カフェや初期集中支援チームへの企画協力など）があった場合、窓口担当者に相談内容を集約し、各地区に所属する会員に協力と依頼の振り分けを行いました。各市町村における進行状況に差はあるものの、一年間で多くの会員から事業へのご参加とご協力をいただきました。

平成28年度も窓口担当者対象に説明会を予定しております。

【研修会の実施】

平成27年度、「地域支援事業に関する理解と実践」という内容で、地域支援事業フォローアップ研修会を開催し、25名の参加がありました。平成28年度は「認知症」に関する介護予防や、地域ケア会議、集いなどの地域リハビリテーション認知症支援の研修会を予定しております。分野、年齢、興味を問わず是非とも多くの会員の参加をお待ちしております。

【平成27年度各市町村のOT派遣状況】※一部抜粋

- ・上越地区13自治体への「通いの場（集団体操、健康講話、認知症予防体操、転倒予防など）」参画
 - ・長岡市・新潟市西区「地域ケア会議」への参加
 - ・新潟市西蒲区「認知症カフェ」 ・新潟市中央区「認知症初期集中支援チーム モデル事業への参加」
 - ・新潟市北区「区ケア会議への参加」「介護予防・健康体操への講師派遣」
 - ・新発田市「認知症予防教室への講師派遣」「住宅改修・福祉用具研修への講師派遣」
 - ・阿賀町「地域支援事業（マシントレーニング教室など）」
- など、上記した活動への派遣を行いました。

【最後に】

平成28年度新潟県リハビリテーション専門職協議会の活動として、各POSでの基金研修会の実施、地域活動マニュアルの作成、在宅医療推進センターへの参画など、地域での作業療法士の必要性を強く周知していきます。会員一人一人におかれましても、研修会への参加など動向に耳と目を傾けておいてください。

『MTDLP 新潟では・・・今!』

新潟県内でMTDLPの普及啓発を開始し4年が経過しました。

現在、基礎研修修了者は219名、事例報告を行い実践者研修修了となった方は、164名となりました。

目標達成人数は、新潟県で言えば、基礎研修が6割の540名、実践者は270名。平成28年度にも研修会を開催し、上記の達成目標目指して、普及啓発を勧めていきたいと思っています。尚、今年度、MTDLP委員会は教育部に所属し活動します。

【生涯教育制度とMTDLP研修制度の関係】

①MTDLP基礎研修を現職者選択研修の1つとし、必修研修となりました。

②MTDLP実践者研修における事例検討会での発表は、現職者共通研修『10.事例報告』に読み替え可能となりました。

協会として上記のような体制となった事を受け、新潟県でも取り組みを開始します。

MTDLPなんて・・・と思う方もいらっしゃるかもしれません。「忙しくてそんなことまでやられていない。」と言う気持ちもわかります。「研修会に参加する時間もないのよね。」と言う方も多いかと思いますが、一度思い切って参加いただければ、間違いなく得るものはあります!!事例報告会も、参加された皆さんから、「久しぶりに研修会に参加してみたけど、来てよかった。」という声が聞かれています。



研修会場に足を運んで下さい!お待ちしております。

MTDLPニュース4月号より

昨年10月から協会誌において「生活行為向上マネジメントの展開」の連載を開始しています。4月は「認知症専門外来における生活行為向上マネジメント」と「自宅入浴に関してMTDLPを活用した要支援者への短期集中訪問事例」となっています。是非、参考にして下さい!!

MTDLP推進委員 山田

義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号



(株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11

TEL 025 281-0303

FAX 025 281-0339



JAPAN
50th
日本作業療法士協会
設立50周年

「これからも あなたと共に 作業療法」

テクノロジーとの良い関係

新潟市障がい者ITサポートセンター/新潟大学大学院 山口 俊 光

<障害者支援の現場に現れるエンジニア>

この記事の筆者は一応エンジニアなのですが、少し変わった仕事をしています。AT Specialist という肩書きが自分の仕事をもっともよく表現しているのですが、残念ながら適当な日本語がありません。ATつまりAssistive Technology（支援技術）の専門家なので、AT Specialistと言うわけです。米国では特別支援学校などで活躍している職種の一つです。ここでいう支援技術とは、加齢により低下した能力や障害により発揮できない能力を補うための技術のことです。非常に幅広い概念で、ちょっとした自助具も、補装具として給付される重度障害者用意思伝達装置も支援技術です。

新潟大学内に設置された新潟市障がい者ITサポートセンターを拠点に、セラピストや特別支援教育に携わる学校の先生と一緒に利用者さんに適した支援技術を提案しています。この記事では最近協力させていただいた事例についてご紹介します。

<作業療法+教育+テクノロジーでできる新しいこと>

筋ジスやALS、SMAのように重度の運動機能障害をとまなう疾患のケースでは、QOL向上のためPCの導入が一般的になっています。PCを使って、Webを閲覧したり、メール交換を楽しむ、といった活動はよく見かけるようになりました。そういったケースでは残された可動部位を使って操作できるようにスイッチやソフトを工夫するのが定石です。当センターの活動でもこうしたニーズに応えることがよくあります。



写真1：「Double Robotics社製の地上走行型ドローン」スマートフォンやPCからインターネット経由で操縦できる。

そこをもう一步進めて導入したのが（写真1）です。ドローンには前方と足元を映すカメラが付いています。音声通話機能も付いているので誰かがドローンに向かって話しかければ操縦者と話ができます。簡単に言えば「自由に走り回れるテレビ電話」といった感じです。普段、Web閲覧やメールのやり取りに使っているスイッチ操作で、自分の分身を走らせてどこかに出かけることができるこの装置、今では30万円程度で入手できます。

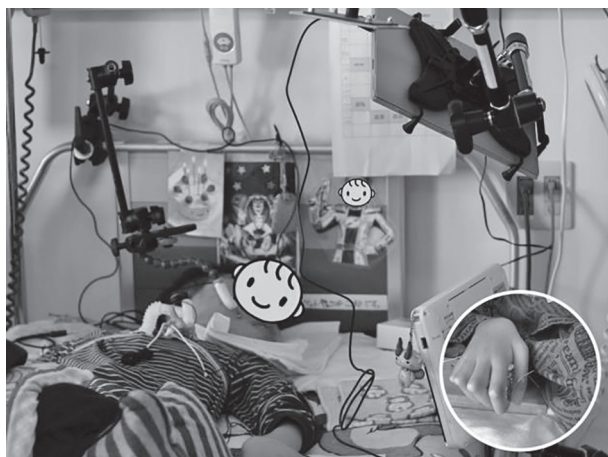


写真2：「ベッド上でドローンを操縦する高校生」ベッド上で操縦している様子。右上方にアームで固定されたPCにドローンのカメラで写した動画が表示される。スイッチもこのPCに接続されている。操作に使っているスイッチは右下丸枠内。わずかに動く左右の親指でマイクロスイッチを操作している。

実際に筋疾患のある高校生が使っている様子が（写真2）です。彼は作業療法の一環として意思伝達装置やPCを操作するためスイッチの練習を小学生の頃からしてきました。左右の親指に設置されたスイッチを使って前進と回転を押し分けてドローンを操縦します。

＜「できること」と「できないこと」の境界は曖昧になる＞

この高校生は幼少期から呼吸器を装着して病院で生活しています。一般的には「できないこと」ばかりの人、といえるのかもしれません。確かに彼にできないことを挙げれば数え切れないほど列举できるでしょう。しかし、技術の進歩が「できること」を増やす可能性もあります。作業療法士と学校の先生が小学生時代の彼に1つのスイッチを提供したところから、彼の「できること」は着実に増えてきました。意思伝達装置から始まった「できること」は、PCを活用した学習、動画の視聴、視線入力装置を使ったシューティングゲームと広がってきました。毎日ではありませんが、このドローンをベッド上で操縦して学校を歩き回ることもあるのです。

進化したテクノロジーを患者さんに届けるためには媒介者が必要です。当センターでは定番のものから最新のものまで様々なテクノロジーを揃えています。遠くない将来、現場でみなさんにこれらのテクノロジーを紹介できる日を楽しみにしています。

福祉・労災指定
各種車椅子・座位保持装置・ベッド
コミュニケーションエイド・福祉機器一般
介護保険レンタル・介護住宅リフォーム相談

(株) G・T・B
(オーエックス新越)

〒956-0017
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<http://www.gtb-niigata.jp/>

介護用品、レンタル・販売
リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや
悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848
新潟営業所 TEL 025-284-6866

新潟県作業療法士会におけるIT支援に関する取り組み

作業療法では障がいのある人に用具を適用し、主体的な活動の獲得を図っている。なかでも情報技術（Information Technology以下、IT）の活用は大きな要素になり得る。

しかしながら、障がい者ITサポートは全国的に認知すら十分ではなく、地域差も大きい現状にある。

日本作業療法士協会でも、制度対策部福祉用具対策委員会内にIT支援を各都道府県士会内で普及促進させる為に、近年全国の2か所程度でIT機器レンタル事業「作業療法士が行うIT活用支援説明会」を開催している。（最新の情報は、OT協会誌第50号P22.23.2016.5発行を参照）この研修会については、新潟県でも過去に開催された経緯があり、同時期に新潟市からのITサポートセンター事業の委託先である新潟大学工学部人間福祉工学部と当県士会もいろんな事業で協力依頼をすることが増した。（例新潟県作業療法学会での講演依頼や機器展示等）

そこで当士会では、療法士による障がい者ITサポートを普及するために平成26年度より講座を企画開催する事となった。

平成26年度は当士会主催で新潟大学工学部福祉人間工学科&新潟市ITサポートセンターの協力をいただき、新潟大学キャンパス内（新潟会場）で主に作業療法士30名を対象に実施した。平成27年度は、更に新潟県言語聴覚士会も共催として加わって頂き、燕労災病院（県央地区）で開催した。その為、H27年度は、言語聴覚士やその他専門職（視能訓練士）・その他の福祉専門職・開発業者・障害者当事者の受講があり、県外からの受講者も数名あった。受講者は、福祉情報技術コーディネーター認定（一般社団法人全日本情報学習振興協会）の合格を大部分が習得した。

今年度H28年は、会場を更に南下し、長岡地区で開催で受講申し込みを受け付け開始した段階である。今後も難病や発達障害児への支援や特別支援学校での支援に対して専門職と関わる上で、IT支援に関する知識を深めていく必要があると考える。

（理事 松本潔）

講座の様子



その他、スイッチやコミュニケーション機器などの使用・操作体験も実施。

第13回新潟県作業療法学会のご案内 ~作業療法のいまを知ってください~

学会運営委員会担当理事 **高 頭 美恵子**

今年度の新潟県作業療法学会テーマは「selected from all (選ばれるために) ~すみなれた^{まち}地域で生きるを叶える支える作業療法の実践への挑戦~」です。地域包括ケアシステム構築のため地域支援事業に対するリハ職の活用は、この1年で確実に増えています。地域で暮らすために、作業療法士は作業療法が必要と思っていますが、そこに「選ばれる」ことがなければ提供はできません。地域でも施設でも、作業療法は活動と参加に働きかける、この実践が大切です。地域支援は医療・介護・介護予防、そして障害者支援・難病支援・特別教育支援など全てが含まれています。今学会ではどのステージ・どの施設でも「実践する」につながる内容を考えました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。現在、口述・ポスター演題Activity発表募集をしております。ペーパーレス化に伴い、学会詳細はHPをご覧ください。また学会誌も今年度よりHPからのダウンロードとなりますので、当日は講演等の資料配布のみとなります。皆様、ご協力の程お願い申し上げます。

2016年度 新潟環境適応講習会のご案内

今年度も下記の通り新潟環境適応講習会を開催いたします。今回のテーマは、更衣動作を中心とした「更衣・洗体動作」です。

本講習会では更衣動作等の自立を目標とするだけでなく、更衣動作等による触圧覚、またそれに基づいた皮膚反応を利用し、片麻痺者が抱える様々な問題を解決することを目標にします。技術練習や実技体験が多い講習会です。

つきましては、業務ご多忙とは存じますが、より多くの方々からご参加いただきたいとご案内申し上げます。

日 時：平成28年9月3日・4日 10月1日・2日（4日間で一つの講習会になります）

会 場：悠遊健康村病院 〒940-2138新潟県長岡市大字日越337 TEL:0258-47-8500

講 師：柏塾塾長 柏木正好、OT伊林克法、OT高橋栄子、PT八児正次 他多数

テーマ：「更衣動作・洗体動作」 参加費：15,000円（懇親会費は別で5,000円程度を予定）

申込期限：平成28年8月15日（月）

お申し込み：件名を「新潟環適参加申込」とし、必要事項を下記アドレスまで
お申し込みください。

niigatakantekimousikomi@yahoo.co.jp



〈申し込み用アドレス〉

必要事項

1. 施設名（所属もご記載下さい）
 2. 施設郵便番号
 3. 都道府県名
 4. 施設住所
 5. 施設電話番号
 6. 氏 名（1メールにつき1名でお願いします フリガナをご記載下さい）
 7. メールアドレス（携帯メールはご遠慮ください）
 8. 職 種
 9. 経験年数
 10. 環境適応講習会の受講歴
 11. 懇親会の出欠 参加 or 不参加
- 問い合わせ先：悠遊健康村病院 新潟県長岡市大字日越337

新潟環境適応講習会事務局長 本間亜以子 TEL：0258-47-8500

詳しくは新潟環境適応講習会のブログをご参照下さい。

<http://blog.livedoor.jp/niigatakannteki/>



〈HPアドレス〉

平成28年度 第1回理事会 議事録

日 時：平成28年4月4日（土）13：30～19：00

会 場：燕労災病院 作業療法室

出席者：横田、貝淵、石井、児玉、高頭、野口、吉井、
松本、山田、片桐（以上理事）、水越、渡辺
（以上監事）

前半は監事監査と理事会同時進行で実施

〈監事監査報告〉

今回は補正予算が多く発生した。OT活躍現場が激変し、新たな事業運営が必要なことは理解している。今後、中途に補正が必要になった場合は、提案者の理事会での事業内容説明、予算建てをしっかりと提案するように。

- ・OT県士会について組織率把握を。会員数が増え、事業は大きく広く予算規模も大きくなったが、組織率把握と高水準に維持する今後の努力も更に必要。OT協会員＝県士会員となるように 県内でも県士会等に所属しない有資格者をどうするか。様々な事項に早急に調整できる機能が必要、そのためにはブロック組織化・支部制等が今後、重要か。

〈報告事項〉

- ・生活行為向上マネジメントに関する追加情報・最新情報等を会員に周知する方法の検討と実行が必要。
- ・新しい地域支援事業に関する取り組み
後日、新潟県・県医師会に3月下旬に3団体へ挨拶予定。
- ・26年度に各市町村窓口（担当者）により既に挨拶がすんでいる地区もあるが、今後各市町村・市町村医師会やその他地域包括ケアシステムに構築に携わる団体への働きかけは必要。

〈協議事項〉

- ・26年度事業報告および27年度事業計画について→承認。
- ・財務・会計方法変更に伴う手続きの提案 →承認

〈事務局より〉

- ・会員管理・入退会、休会、復会について →承認。
以上

平成28年度 第2回理事会 議事録

日 時：平成28年5月19日（土）19：00～21：00

会 場：田宮病院 作業療法室

出席者：横田、四方、石井、一ノ本、菊入、児玉、高頭、野口、吉井、片桐（以上理事）、渡辺（以上監事）
斎藤（災害対策）

〈九州震災報告〉

- ・現在、JRAT活動は終息方向。
- ・震災発生時から現在までの振り返りを行った。

【震災発生直後・初動】

- ・震災直後には、定足数を満たさなくても理事会開催し、方針決定すべきだった。他団体はFAX送信でJRAT協力可否などを速やかに発信していた。今後、PC→FAX送信できるアプリもある。グループLINEなど今後、検討が必要か。
- ・県委託事業・新潟大学医学部災害医療教育センター主催・新潟県災害医療研修会等への参加を促し、活動できる人材育成も必要。
- ・県士会・災害対策委員会の事業計画として、メーリングリスト、OTバンクを作る予定。

【今後の対応】

- ・5/25にJRAT今後の活動継続かが判明する。
- ・震災関連の続報を定期便で発信していく。
- ・支援金について → 拠出承認。

〈協議事項〉

- ・旅費交通費規定・改定について
吉井理事より、会計事務所助言の基、修正案の説明あり。 →承認

以上

平成28年度 第3回理事会 議事録

日 時：平成28年5月22日（日）13：00～13：25

会 場：燕三条地場産業振興センターリサーチコア
6階研修室

出席者：横田、四方、石井、石田、一ノ本、尾崎、菊入、高頭、野口、松岡、松本、山田、吉井、片桐（以上理事）、渡辺（以上監事）

- ・会員管理
入退会、復会について →承認。
- ・ほか、総会前の打ち合わせを実施した。

以上

平成28年度 社員定期総会 議事録

日 時：平成28年5月22日（日）13：34～14：56

会 場：燕三条地場産業振興センターリサーチコア
6階研修室

参 加：社員総数833名 出席社員数653名（うち委任状出席593名）

- ・議 長：厚生連柏崎総合医療センター 横田剛氏
- ・副議長：介護老人保健施設みそのびあ 本間康子氏
- ・定足数報告、出席会員数（うち出席者数59名、委任状出席593名）であり、総会は成立。

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算報告の件

会長より、平成27年度事業報告及び決算報告の件について一括報告。

- ・30周年記念事業で予算の補正をかけたが結果的には必要がなかった。他事業縮小も必要がなかったかもしれない。
- ・財務部長より平成27年度決算について報告。
- ・収支計算書収入では、匿名の方から50万円の寄付金をいただいた。精神障害の分野で使用を検討している。
- ・支出では、補正予算計上している事業あり。
- ・公益法人への移行準備として平成28年度から会計事務所に入ってもらう予定。
- ・監事渡辺氏より監事監査報告。補正予算を組んだが予算が余ってしまう状況にあるため、予算作成の精度を上げること、予算を適切に執行するよう指摘あり。
- ・質疑・意見 ながおか生協診療所 早川昭氏より、30周年記念事業のために縮小した事業は具体的に何か? →会長より、広報とき(1回16万円×3回)を発行しなかったことが最も大きい。他には会議開催の減少、印刷物減少といった小さなことを積み重ねたと返答があった。
- ・早川氏より、30周年の記念誌発行がずれ込んだ要因について質問。会長より発行日を明確にしていなかったことが要因と思われると説明があった。しっかりとしたものを作るためスケジュール・内容を決めて確実にやっていく。
- ・早川氏より、現職者選択研修会について、定員100名に対して18名の参加者だが、どの程度の参加を見込んでいたのか? →担当一ノ本理事より、例年の傾向をみて20~30名の参加を見込んでいたと返答。
- ・決算報告について質疑・意見。
- ・晴陵リハビリテーション学院 佐藤氏より、30周年事業について予算と決算が乖離している。→会長より、当初は積み立てが300万円程あり毎年20万円ずつの積み立てでできると思われたが、予算計画の根拠が明確ではなかったと思われると返答あった。また、全理事で役割を持って進めていく方向性だったが責任の所在が不明確になってしまったことも要因と思われると返答があった。
- ・事業報告、決算報告は承認された。

第2号議案 平成28年度事業計画及び予算の件、報告。

- ・公益社団法人への移行を検討していきたい。
- ・30周年記念事業の反省から定額貯金支出金を倍額にした。

第3号議案 役員改選の件

- ・選挙管理委員会より、任期満了のため選挙実施。立候補が、定足数を越えなかったため、無投票当選となったと報告があった。

以上

平成28年度 第4回理事会 議事録

日 時：平成28年5月22日(日) 17:10~17:30

会 場：燕三条地場産業振興センターメッセピア

出席者：横田、四方、石井、伊東、一ノ本、尾崎、菊入、北上、児玉、小山、佐藤、高頭、能村、松岡、松本、村山、吉井、片桐(以上理事)

【協議事項】

●28年度の理事体制、業務分掌について

・代表理事(会長)：横田剛

・副会長：貝淵正人、四方秀人、児玉信夫

以上を選出→承認。

・業務執行理事

貝淵正人、菊入恵一、四方秀人、児玉信夫、松本潔、片桐貴利

以上6名を選出 →承認。

以上

入会、会員情報変更の届けはお早めに

事務局では、8月発行をめぐに、会員名簿の作成に入っております。

まだ、入会届を出されていない方、所属先の変更があった方は、早急に事務局に届けください。ご注意ください!!

入会届…郵送のみ可。会員情報変更…FAX可。

研修案内などは、ホームページのご確認を!! (事務局より)

事務局では、省資源・経費削減のため“配送物のペーパーレス化とホームページの活用”を推進しております。

毎月お届けする定期便には、「送信票」を入れております。

ぜひご確認ください。お願い致します。



SAKAIMED

急性期からの*

ハンドセラピーを

お手伝いします。

* スプリント *

酒井医療株式会社
新潟営業所
Tel: 025-286-1788
www.sakaimed.co.jp

作業療法のちから ～叶える可能性～



私は、ALSという病気で声が出ません。しかし、自分の周りの事は出来るだけ自分でしたいと思っています。お話はボードに文字を書いて行ってます。手作業を通して文字だけは忘れないようにしたいです。今回、先生とちぎり絵に挑戦しました。指先の力がこんなに必要である事に驚きました。また、一緒に話をする友達も増えました。周りにいる人がいい人ばかりだから挫けず頑張りたいです。

(80代 ALS 女性)

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No. 1 2016年7月4日発行

発行責任者：横 田 剛

編集責任者：尾 崎 生

発 行：一般社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷：株式会社 タ カ ヨ シ